令和　年度動物実験報告書

年　　月　　日

熊　本　大　学　長　　殿

熊本大学動物実験等に関する規則第１２条第２項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

□年度報告（実施を継続する場合）　□完了　　□中止

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 動物実験責任者 | 氏　名 | 部局名 |
|  |  |
|  |
| 研 究 課 題 名 |  |
| 承　認　番　号 |  |
| 実験実施期間 | 年　　月　　日～　　年　　月　　日 |
|  |
| ・実施状況経過報告・完了の場合成果報告（予定を含む）（得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載） |  |
|  |
| 中止の場合その理由 |  |
|  |
| 特　記　事　項 |  |

　※裏面に記入例があります。

令和　年度動物実験報告書（記入例）

青文字：記入例

赤文字：動物実験報告書を書く上での留意点(記入要領)

赤文字：動物実験計画書を書く上での留意点(記入要領)

年　　月　　日

・実験を継続する場合⇒「年度報告」

・終了した場合⇒「完了」

・中止した場合⇒「中止」

　にチェックを入れてください。

熊　本　大　学　長　　殿

熊本大学動物実験等に関する規則第１２条第２項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

□年度報告（実施を継続する場合）　□完了　　□中止

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 動物実験責任者 | 氏　名 | 部局名 |
| 熊　　大　　太　　郎 | 生命資源研究・支援ｾﾝﾀｰ　病態遺伝分野 |
|  |
| 研 究 課 題 名 | ○○シグナル経路の発がんへの関与およびその抑制薬△△の抗癌作用の検討 |
| 承　認　番　号 | **A2022– 9 9 9**  |
| 実験実施期間 | **年　　　月　　　日～　　　年　　　月　　　日**「中止」の場合は中止日を記入してください。 |
|  |
| ・実施状況経過報告・完了の場合成果報告（予定を含む）（得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載） | 記入欄が不足する場合はスペースを拡大あるいは別紙をつけて記入してください実験が　「完了」　した場合に成果報告を記入してください実験期間が翌年度に及ぶ場合（継続）に経過報告を記入してください但し、当該課題を当初の計画より継続する場合は、別途　「継続申請」　を提出してください |
|  |
| 中止の場合その理由 | 実施計画期間中に実施計画を　「中止」　する場合に中止の理由を記入してください |
|  |
| 特　記　事　項 |  |